

日本のテニュアトラック制とはどのような制度なのでしょうか？

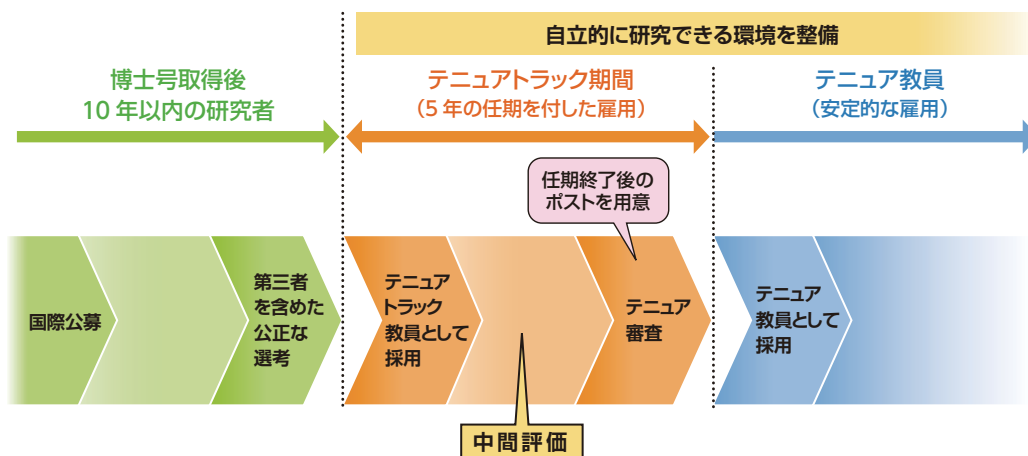
● テニュアトラック制とは

- ・ 公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことができる仕組みをいいます。
- ・ 文部科学省では、次の要件を満たした研究者育成制度を実施する機関を対象に、平成 23 年度から補助を行っています。

1. 博士号取得後 10 年以内の若手研究者を対象とすること
2. 一定の任期（5 年）を付して雇用すること
3. 公募を実施し、公正・透明な選考方法を採用していること
4. 研究主宰者（Principal Investigator: PI）として、自立して研究活動に専念できる環境（例：研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、研究活動時間が全仕事時間の 70% 以上であること）が整備されていること
5. 任期終了後のテニュアポスト（安定的な職）が用意されていること

- ・ 上記の要件を人事面と研究環境面に分けて図示すると次のようになります。

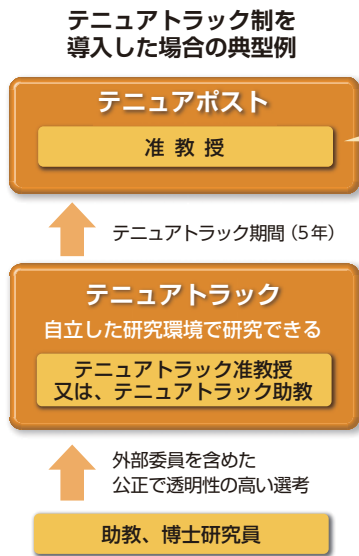
● 募集及び選考・採用に関する要件



● 研究環境に関する要件



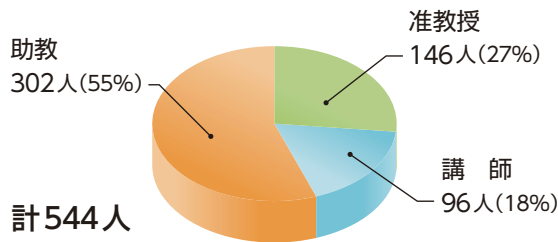
●大学における教員のキャリアパスのイメージ図



テニュアポストに移行した後、研究主宰者 (PI) としての環境が維持されていることが必要です。(教授への昇任は必須条件ではありません)

●採用したテニュアトラック教員の職位別分類

Q: テニュアトラック教員は、どのようなポストで採用されていますか？



(平成18年度～平成22年度採択機関)
旧科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」におけるJST集計データ (平成23年3月末)

テニュアトラック制のメリットは？

●大学・研究機関にとってのメリット(例)

- ・優秀な若手研究者が採用され、充実した自立的な研究環境と相まって優れた研究成果が上がっています。

例：多くの受賞実績

- ・科学技術分野の文部科学大臣表彰
- ・米国生理学会 Neural Control & Autonomic Regulation Section (NCAR) New Investigator Award
- ・材料科学に関する国際会議 (IUMRS-ICAM) Young Scientist Award など多数

- ・一般の若手教員に比べ科学研究費補助金の採択率が高くなっています。

	テニュアトラック教員	学内の一般教員
若手研究 (A・B、39歳以下) の採択率	73%	36.3%

※旧科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」平成20年度採択9機関における、平成20年度～21年度の科学研究費補助金の獲得状況から算出

- ・大学にとっては、
 - ◇ 優秀な若手研究者を採用できる
 - ◇ 外部資金の獲得が増えることにより、間接経費等の収入が増えた …等の効果が出ています。

●テニュアトラック教員にとってのメリット(例)

- ・優れた実績を残せば安定的な職が得られる
- ・十分な研究費が配分されて、自立した研究環境の中で自分の研究に取り組める
- ・研究以外の業務が軽減されて十分な研究時間が確保できる